

東区障害者基幹相談支援センターだより

平成 31年 10月発行

令和元年度支援者のための子どもの発達を学ぶ会 in 東区

「ゲーム・スマホは取り上げるのではなく、子どもと使い方の約束を積み上げるのが大切」

令和元年度の「支援者のための子どもの発達を学ぶ会 in 東区」が、9月25日ウィルあいちにおいて開催されました。会場には、定員を超える118名が参加しました。今年、「発達障害とゲーム・ネット・スマホ～デジタル機器とのつきあい方を考える～」と、支援者を日々悩ませるタイムリーなテーマに設定しました。講師には、このテーマの第一人者吉川徹氏（愛知県医療療育総合センター中央病院こころ科部長）をお招きして、お話してもらいました。

お話の中で、「ゲームやスマホを禁止するのは、時代の流れから無理なことです。それより、早くから子どもと使い方を約束していくことです。約束は、守れないものをしてはいけません。約束の価値を下げてしまいます。守れる約束を積み上げていけば、子どももきちんと守っていきます。そのためには、親もゲームやスマホを知らなければなりません。また、同時にゲームやスマホだけに依存しないよう、ほかにも夢中になるような楽しいことに触れる機会を、親が与えていかなければなりません」という件が、とても印象的でした。



<感想アンケート結果>

どちらともいえない 1%

・講演は参考になりましたか？

非常に参考になった 63%	参考になった 33%	他 3%
------------------	---------------	---------

・自由記述例

「幼いうちから身近にかかわることの多くなったデジタル機を考える機会となりました」
「ネットやゲームには否定的な考え方であったが、今日のお話を聞いて使い過ぎないリテラシーを作ることが必要であるということに目からうろこが落ちました」
「今まで批判的にとらえていたが、どうしても欠かさざるを得ないもので、早期のうちに使って、かつ小さいうちのルール作りが大切なことが分かった」
「守られていない約束があるのは約束がないことより悪いということにその通り」
「デジタルよりも楽しくなるようなお出かけや体験などを増やしていきたい」

◆発行者◆

東区障害者基幹相談支援センター（本部）

名古屋市東区筒井三丁目1-14

TEL：052-932-7584

FAX：052-932-7585

東区障害者基幹相談支援センター（サテライト）

名古屋市東区山口町3-17プレズ名古屋徳川1A

TEL：052-325-6193

FAX：052-325-6203

令和元年第1回情報交換会「みんなで語ろう！わがまち東区Vol. 9」報告

これって、差別？具体的な事例を通じて学ぶことが大切！

令和元年8月29日(木)午後2時より、東区役所講堂において、東区障害者自立支援連絡協議会の第1回情報交換会が開催され、26名が参加しました。同会は、「これって、差別？」一障害者差別解消推進条例を学ぶ—をテーマとし、名古屋市障害者差別相談センターの吉川琢夫センター長を講師にお招きして実施されました。



講演前半は、4月施行された名古屋市の障害者差別解消推進条例を中心に吉川琢夫センター長が解説を行いました。後半は、東区障害者基幹相談支援センターの職員が各グループの進行を担当し、事例検討を行いました。

障害者差別について考える時、具体的な事例について、いろいろな人の意見を聴くこと、様々な角度から考えることの重要性を感じることができました。

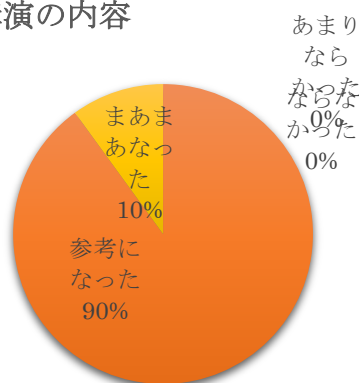
また、最後に、参加者自身の業務や職場についても振り返る機会をもちました。

「こういう仕事をしていても、気がつかないところで差別してしまっていることも多いと感じた。意識を変えて仕事にのぞみたい。」「相手の話を聞く事の大切さ、よく考えて慎重に話をしないといけないと改めて感じた。」などの意見がだされました。障害者差別の解消の取り組みは、特別な場面に限らず、日々の暮らしや業務の中でも取り組めることに気づくことができました。

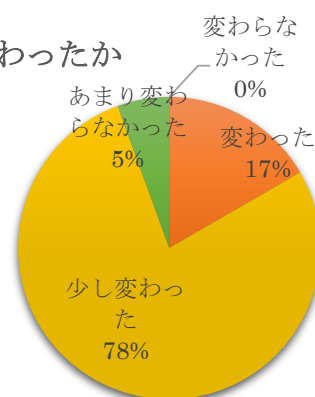
名古屋市障害者差別相談センターでは、各職場での出前講座の実施を呼びかけています。お気軽に、ご相談ください。(電話 856-8181 F A X 919-7585)

<アンケート結果>

講演の内容



講座で変わったか



<感想例>

「具体的な事例で判断を求められると、こんなに迷うとは思わなかった。特に、合理的配慮の不提供は、個別の局面で大きく変わってしまう。」

「合理的配慮についての事例集があると、とてもわかりやすい。もっと、みんなの目に触れるようになると、理解につながるのでは。」